

猿之助の世界 第二章

昨年の第一章では、スーパー歌舞伎をテーマに大変好評を得ました。2006年第二章では、市川猿之助が、歌舞伎を通して日本と海外との文化の架け橋をいかに築いたのかということに注目します。

ゲストには、市川猿之助研究の第一人者、イタリアボローニャ大学ジョバンニ・アザローニ教授と、市川猿之助の愛弟子、市川右近氏をお招きし、実際のワークショップ再現や海外公演映像を紹介しながら「猿之助の世界」を熱く語ります。

トーク&ライブショー 猿之助の世界 第二章

ジョバンニ・アザローニ（イタリア・ボローニャ大学教授）
市川右近（歌舞伎俳優）
毛利臣男（京都芸術劇場芸術監督）

2006年5月19日 | 金 開場：18時30分 開演：19時

20世紀から21世紀にかけて、再び、ジャポニスムの風が吹き始めました。

無料入場

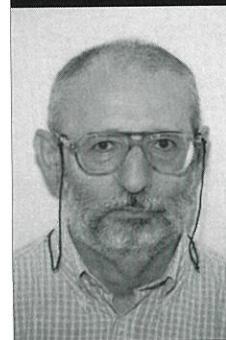
プログラム

猿之助の世界 第二章 猿之助歌舞伎とジャポニスム

● 基調講演

『三代目市川猿之助
歌舞伎と舞台芸術の素晴らしい世界』

ジョバンニ・アザローニ



ジョバンニ・アザローニ

(イタリア・ボローニヤ大学音楽舞台学部教授)

母なる大学と呼ばれ、世界で最も歴史のある大学の一つに上げられるボローニヤ大学の音楽舞台学部教授。専門はアジアにおける演劇史と舞台人類学。

歌舞伎やアジア演劇等に関する著作が多数ある。最近の著作として、

L'arte del kabuki, la casa Usher, Firenze 1984
Dentro il mondo del kabuki, CLUEB, Bologna 1988
Società e teatro a Bali, CLUEB, Bologna 1994
Gli oggetti nello spazio del teatro (written with Paola Bignami), Bulzoni, Roma 1997
Teatro in Asia (Malaysia-Indonesia-Filippine-Giappone), vol. I, CLUEB, Bologna 1998
Teatro in Asia (Myanmar-Thailandia-Laos-Kampuchea-Viet Nam), vol. II, CLUEB, Bologna 2000
Le realtà del mito (ed.), CLUEB, Bologna 2003
Teatro in Asia (Cina-Tibet-Mongolia-Corea), vol. III, CLUEB, Bologna 2003
Teatro in Asia (Nepal-Bhutan-India-Sri Lanka), vol. IV, CLUEB, Bologna 2006

● 対談

『海外における猿之助歌舞伎の活躍』

ジョバンニ・アザローニ・市川右近・毛利臣男

● 映像で見る歌舞伎（市川猿之助出演作品）

市川猿之助の海外及び日本公演映像（義経千本桜・他）

● ワークショップ

『歌舞伎ワークショップの再現』

ジョバンニ・アザローニ・市川右近・毛利臣男・他

※逐次通訳有り

※入場無料（事前申込み不要）

■ お問合せ：

京都造形芸術大学 劇場企画運営室（担当：倉岡、上田）

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

tel: 075-791-9437 fax: 075-791-9438 e-mail: info@k-pac.org



■ 会場アクセス：

- ◇JR「京都」駅、京阪「三条」駅、阪急「河原町」駅から
→京都市バス5番「岩倉」行き乗車、「上終町・京都造形芸大前」下車（京都駅から約50分）
- ◇市営地下鉄「丸太町」「北大路」駅から
→京都市バス204循環に乗車、「上終町・京都造形芸大前」下車（約15分）
- ◇京阪電鉄「出町柳」駅から
→叡山電鉄に乗り換え、「茶山」駅下車、徒歩10分。
- タクシーで10分
- ◇駐車場はございません。



市川右近（歌舞伎俳優）

1963年日本舞踊家元の長男として大阪に生まれる。1972年京都南座『天一坊』で初舞台。この時猿之助の『吉野山』を見て歌舞伎の魅力にとりつかれ、1975年1月大阪新歌舞伎座『二人三番叟』の附千歳で猿之助の部屋子となり市川右近を名乗る。小学校卒業と同時に単身上京、猿之助の下で学業と舞台修行の日々をおく。大学卒業後は歌舞伎一筋に修行を続け、常に若さとパワー溢れるシャープな演技を見せ、口跡も爽やか。「二十一世紀歌舞伎組」公演では、旗揚げより主役を演じ中心的役割を担っている。また猿之助の演出作品では常に演出助手を務め師匠を助けている。

近年では歌舞伎以外の作品にも出演し、特に『子午線の記り』『残菊物語』『ビルグリム』『マクベス』他好演。また朗読劇の演出・主演、オペラの演出と多方面に活躍している。

本年5月の中日劇場での二十一世紀歌舞伎組「雪之丞変化2006」では、演出も勤めている。

毛利臣男（京都芸術劇場 芸術監督）

空間と動きの相互関係を多様なメディアを通して創作し、あらゆる人とその環境を包括するアーティスト。

1984年パリ シャトレー劇場での市川猿之助演出、オペラ「ル・コックドール」の衣裳デザインを皮切りにスーパー歌舞伎全作品での衣裳・装置デザイン（1996年カグヤ以降）やミュンヘン スターツオーバー劇場でのオペラ「影のない女」等、多くの市川猿之助作品に参画し、ダイナミックで美しい衣裳と舞台美術が国内外で高い評価を受ける。

国内外を問わず多くのオペラやバレエ、能、現代劇などの美術、衣裳デザインや展覧会の美術監督としても多彩な才能を発揮している。

また、文化服装学院および京都造形芸術大学において客員教授を務め、仮面舞踏劇「モーリ・マスク・ダンス」や空間展「モーリの色彩空間」、「毛利の服」での活動を通して、学生と共に自分が提唱する「コラボレーション美学」という新しい試みに取り組んでいる。

昨年4月より京都造形芸術大学 京都芸術劇場の芸術監督を務めている。

